

9 食に関する指導の全体計画（山都町立矢部中学校の例）

〈生徒・地域の実態〉

- ・学校給食を楽しみにしている生徒が多い。
- ・給食の残食は少ないが、偏食のある生徒もいる。
- ・食生活への関心に個人差がある。
- ・米、野菜、果物等を栽培する家庭が多い。
- ・学校教育への関心は高く、協力的である。

〈学校教育目標〉

未来を切り拓いていく「生きる力」を持った生徒の育成

- 学を修め向上する生徒 「確かな学力」の育成 《知育》
- 愛を育て共生する生徒 「豊かな心」の育成 《徳育》
- 夢を求め錬磨する生徒 「健やかな体」の育成 《体育》

学習指導要領

- 食育基本法
- 食育推進基本計画
- 熊本県食育推進計画

〈食に関する指導目標〉

- ①食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する〈食事の重要性〉
- ②心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける〈心身の健康〉
- ③正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について、自ら判断できる能力を身に付ける〈食品を選択する能力〉
- ④食事を大事にし、食物の生産等に関わる人々へ感謝する心をはぐくむ〈感謝の心〉
- ⑤食事のマナーや食事を通じた人間関係形成力を身に付ける〈社会性〉
- ⑥各地域の産物、食文化に関わる歴史等を理解し、尊重する心を持つ〈食文化〉

【ポイント1】

目標が明確に記載されています。

- 学校教育目標
- 食に関する指導の目標
- 各学年（小学校では低・中・高等）ごとの食に関する指導の目標

【ポイント2】

学級活動、給食の時間の指導内容及び各教科との関連を、年間を通して一覧表に整理されています。

- 学年ごと
- 教科ごとなど

各学年の食に関する指導の目標

| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|---|--|---|
| ○成長期の終期であることを認識したうえで、身体の発達に必要な栄養素を理解し、中学生期に適切な食事の摂り方ができるようにする。 ○小学校より10分短い給食時間の動きに慣れる。（確実な手洗い・迅速な準備・会食・ルールに沿った片付け） | ○自分の食生活や将来の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。 ○各地域の産物が分かり、それを生かした郷土料理を知る。（山都町や沖縄県） | ○生涯の健康管理と食生活の結びつきを理解する。 ○1日分の献立作成をふまえて、簡単な日常食の調理に興味をもつ。 ○安全で衛生的な食品の取扱いができる。 |

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|--|--|--|----|----------------------------------|---------------------|---|-----|--------------------------|--------------------|---|----|
| 特別活動 | 学級活動及び給食の時間 | 1年 | ○朝食の大切さを知ろう ●給食の時間の過ごし方（身支度・手洗・準備・後片付け） | | | | ○日本の食事のよさを知ろう ○野菜を食べよう ●正しい食事のマナー、会食の仕方 | | | | ○給食ができるまでを知ろう ●食への感謝の気持ちを表そう | |
| | ○学級活動 ○食に関する指導 ●給食指導 | 2年 | ○朝食の大切さを知ろう ●給食の時間の過ごし方（身支度・手洗・準備・後片付け） | | | | ○朝食のとり方について考えよう ○地元や沖縄の郷土料理を知ろう ●正しい食事のマナー、会食の仕方 | | | | ○免疫力を高める食事について考えよう（風邪や感染症の予防） ●食への感謝の気持ちを表そう | |
| | | 3年 | ○朝食の大切さを知ろう ●給食の時間の過ごし方（身支度・手洗・準備・後片付け） | | | | ○マナーを守り楽しく食事をしよう ○自分の健康と食事について考えよう ●正しい食事のマナー、会食の仕方 | | | | ○受験期の栄養について考えよう ●食への感謝の気持ちを表そう | |
| | 一斉指導 | ○給食の時間の過ごし方を考えよう | | | | ○正しい食事のマナーを身につけよう | | | | ○感謝して食べよう | | |
| | 学校行事 | 入学式、身体測定、検診、授業参観 職場体験、体育大会、食育月間、集団宿泊 中体連大会 | | | | 文化祭、授業参観、修学旅行、持久走大会 | | | | 学校給食週間、授業参観 卒業式 | | |
| 生徒会活動 | 年間計画作成、朝食キャンペーン 給食の後片付け指導（通年） | | | | 文化祭での展示準備、リクエスト給食募集 後片付けコンクール | | | | 給食週間の取り組み 残食調査、今年度の反省 | | | |
| 教科との関連 | | | 第1学年 | | | 第2学年 | | | 第3学年 | | | |
| | 社会 | 世界の様々な地域、人々の生活と環境 | | | | 世界から見た日本の姿、日本の諸地域 | | | | 様々な国際問題、貧困問題 | | |
| | 理科 | 植物の体のつくりとはたらき | | | | 動物の体のつくりとはたらき | | | | 生命のつながり、自然界のつながり | | |
| | 国語 | クジラの飲み水 この小さな地球の上で 食感のオノマトペ | | | | 異なる立場や考えを尊重して 初恋 | | | | | | |
| | 技術・家庭 | 健康と食生活 食品の選択と保存、調理計画 食品の選択と購入 | | | | 地域の食材と文化 | | | | | | |
| 保健体育 | 心身の発達と心の健康 | | | | 健康と環境 | | | | | | | |
| 道徳 | 望ましい生活習慣1（1）、思いやり2（2）、畏敬の念3（2） 家族愛・郷土愛4（6）（8） | | | | | | | | | | | |
| 総合的な学習の時間 | 健康、環境、国際理解、職場体験、知己を知る体験活動（フィールドワーク） | | | | | | | | | | | |
| 家庭・地域との連携 | ・学校で学習したことを家庭に知らせ、実践化を促す。（学級通信や食育便り等） ・望ましい食習慣の在り方について家庭に提案し、連携・協力体制を築く。 （保護者・民生委員等対象の給食試食会） | | | | | | | | | | | |
| 地場産物活用方針 | ・青果物業者や「有機農業協議会」等との連携により、地場産物の活用品目の更なる拡大を図る。 ・毎月食育の日（19日）を「ふるさとくま（熊）さん（産）デー」として設定し、山都町を始め県内で生産された農林水産物を活用した熊本の伝統料理や郷土料理の献立を学校給食で実施する。 | | | | | | | | | | | |
| 個別相談指導方針 | ・日常の食生活の様子や発育状況などから個別指導が必要である場合は、担任、養護教諭及び栄養教諭等が共通理解を図り、保護者と連携をとりながら慎重に実施する。 | | | | | | | | | | | |

【ポイント3】

家庭・地域との連携や取り組み方などを示されています。

- 家庭・地域との連携
- 地場産物活用の方針
- 個別相談指導方針